

医療のまちづくり拡大市民会議

南魚沼市

令和6年2月24日

会場：南魚沼市民病院

(2) 準備状況の説明

ア 大和地域包括医療センターの状況 (ア) 外来診療機能

令和6年11月の診療所化により、ゆきぐに大和病院の入院機能は無くなりますが、外来診療は現在の診療科を基本的に維持します。

(2) 準備状況の説明

ア 大和地域包括医療センターの状況

(イ) 外来診療以外の機能

外来診療機能の他に、訪問看護師ステーションの新設、ホームケアステーションの継続、地域医療連携室の強化など、多機能な大型診療所となります。

(2) 準備状況の説明

イ 南魚沼市民病院での入院について (市内全域をカバー)

市立病院の入院機能は、南魚沼市民病院に集約し、リハビリ機能を強化するなどケアミックス病院として市民の医療ニーズに対応します。

また、令和6年7月には、4床の増床を予定しています。

(3) 新健診施設について

- ①令和8年4月オープン予定
- ②市民病院の敷地内に移設して、全市民の住民健診に対応
- ③人生100年時代に対応して健康寿命の延伸を推進
- ④災害時には福祉避難所として活用
- ⑤建設費用は37億円を予定

財源内訳	金額
国土交通省補助金	18.5億円
交付税	3.3億円
市の負担	15.2億円
合計	37.0億円

※補助金がルール分(1/2)の場合

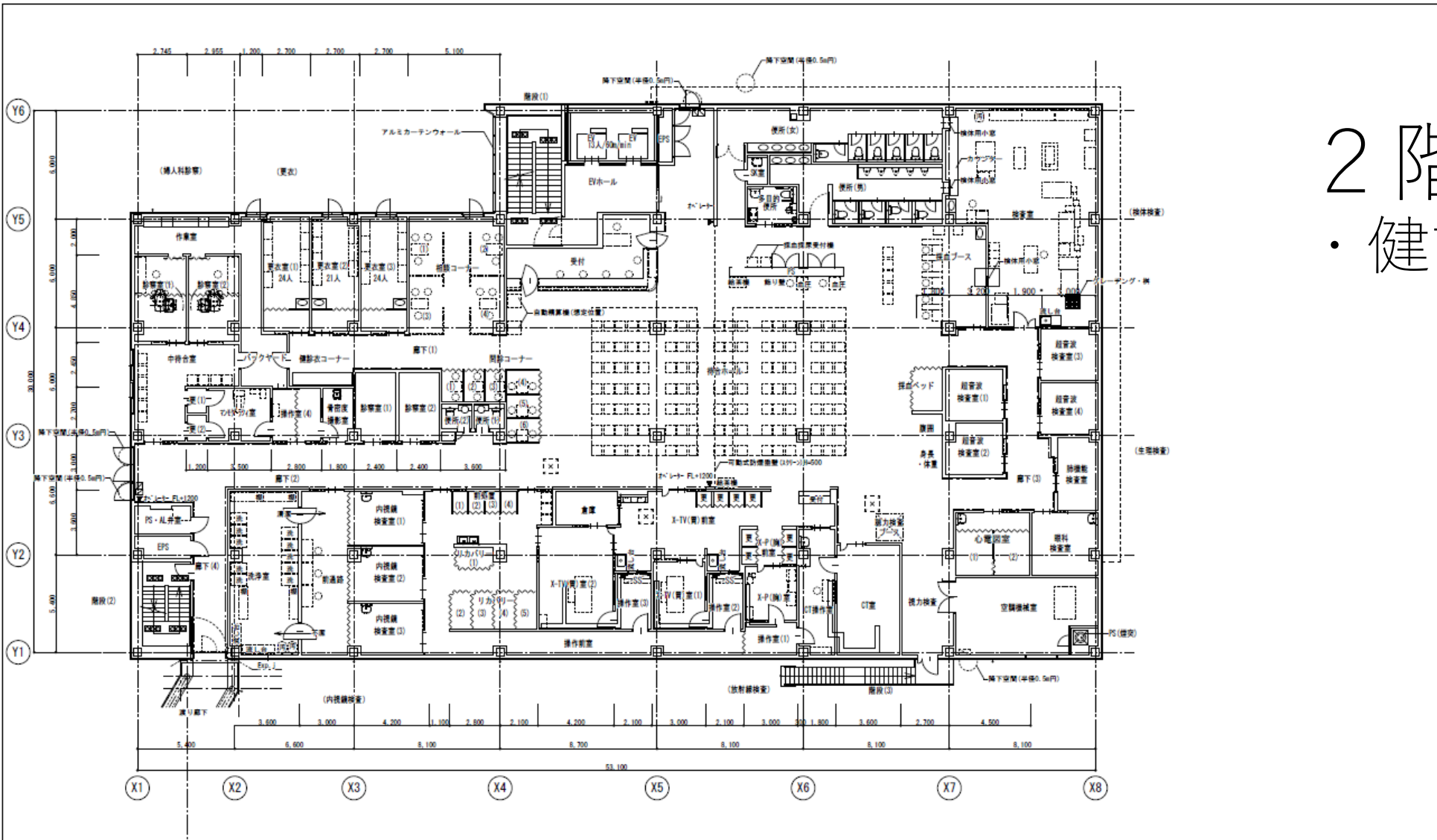
イメージ図






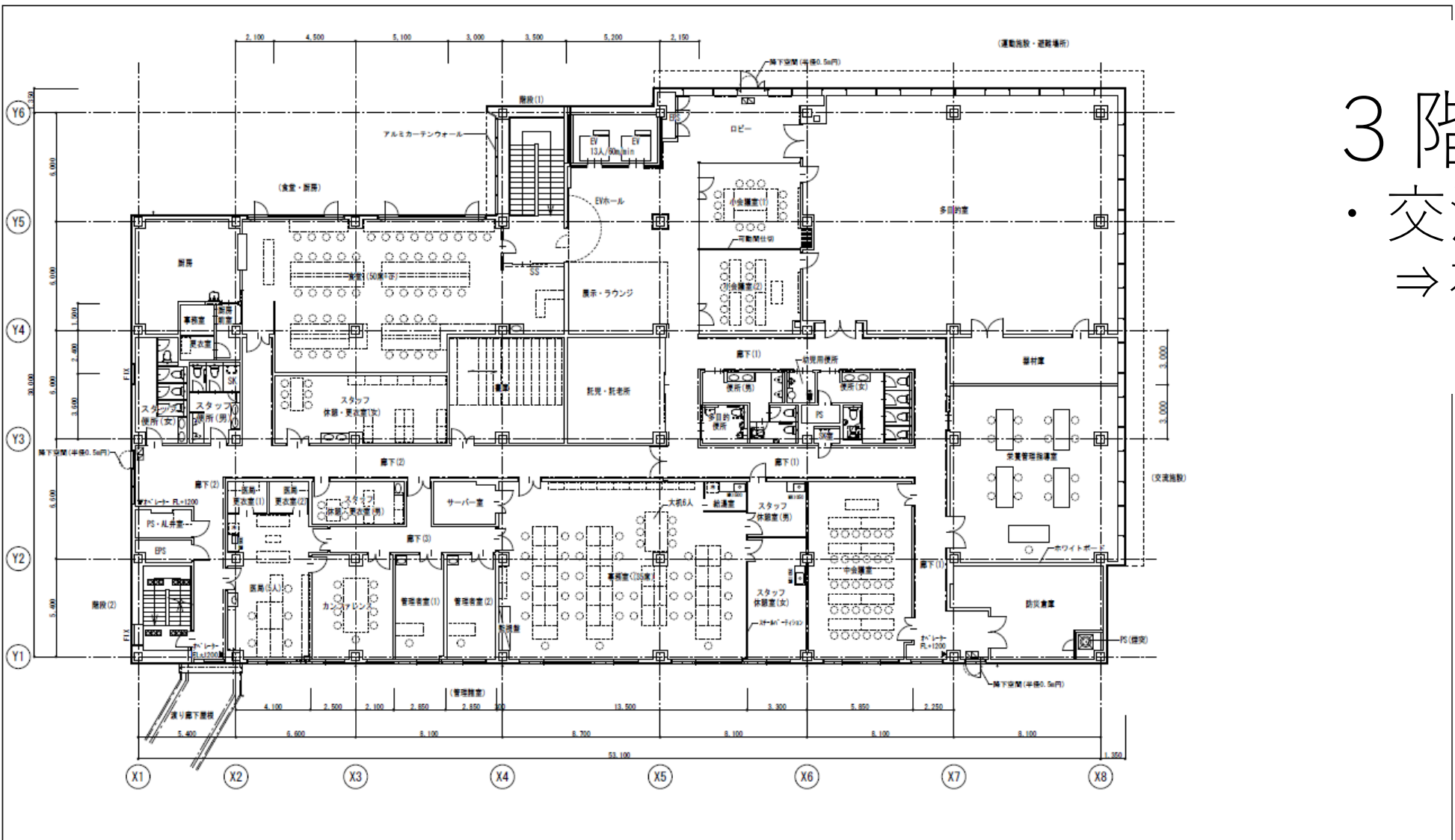
2階

・健診スペース



2階平面図

 株式会社 山下テクノス YAMASHITA TECH-NOS CO., LTD.	一般建築士 第14712号 出崎 正志	図名 2階平面図	図号 A-000	図例 1/100 (A1), 1/200 (A3)	図面内容 2階平面図	図面番号 A-000



3階
 ・交流スペース
 ⇒福祉避難所

3階平面図

(4) 医療に関する各種計画について

ア 医療のまちづくりに関する骨太の全体計画について

I 病院事業の医療資源の再編

①健診施設等

令和8年4月に南魚沼市民病院敷地内に移転

②城内診療所

近隣に開業する診療所との連携

③南魚沼市民病院

へき地医療拠点病院化に伴う巡回診療、長期入院施設の整備を検討

④ゆきぐに大和病院⇒大和地域包括医療センター

大型で多機能的な診療所として在宅療養のモデル化

⇒**令和9年度中のオープンについて検討**

II 「生きる」を支え続けるための常勤医・スタッフの確保

- ① 医師や医療スタッフの確保
- ② 「医師の働き方改革」への対応
- ③ 正職員としての常勤医師の確保 ほか

III 経営の健全化

- ① 一般会計からの繰入金は交付税相当額を目標
- ② 経営の効率化
- ③ これまでの経営状況と今後の見込み

(4) 医療に関する各種計画について

イ 経営強化プラン

経営強化プラン

①計画期間

令和5～9年度

②平成28年度から令和2年度に計画していたゆきぐに大和病院・南魚沼市民病院新公立病院改革プランの計画期間終了に伴い、次期中期計画として、総務省のガイドラインに基づき作成

③病院事業を取り巻く様々な要因をふまえて、方針及び経営目標について計画策定

(5) 質疑、意見交換